

心理学概論

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

《担当者名》西塚拓海（非常勤講師）

【概要】

心理学概論では、現代の心理学が成立するまでの歴史的経緯について理解し、心理学の基本的な考え方とその理解に必要な基礎的知識を習得する。また、心の働きによって生じている多様な現象や事象を特定し、それらを心理学的視点から理解、解釈、考察することに加え、他者に説明、解説できる能力を高める。

【学修目標】

感覚・知覚、学習、記憶、思考・言語、動機づけ、情動・感情、性格、知能、発達、社会行動、心の健康と障害、それぞれのテーマにおいて下記を目標とする。

心理学の成り立ちについて、諸科学との関連やその歴史的背景について理解し、説明する。

各テーマにおける基礎的な概念に関して、従来の理論の特徴と限界を理解し、説明する。

これらの心理学的概念や理論が、どのように相互に関連しているかを理解し、説明する。

「心の働きによって生じている多様な現象や事象」を、これらの心理学的概念や理論に基づいて説明、解説する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション	・心理学とは何か、心理学と心理学ではないものを理解する。 ・心理学の方法、心理学の歴史、を理解する。 ・心理学検定を知る。	西塚拓海
2	発達	・発達とは何か、発達段階、乳児期から老年期にかけての発達、を理解する。	西塚拓海
3	感覚・知覚	・感覚と知覚の基本法則、感覚の種類、感覚の測定、精神物理学と関、を理解する。 ・ウェーバーの法則、フェヒナーの法則、スティーブンスの法則、を理解する。	西塚拓海
4	感覚・知覚	・視覚、および視覚の情報処理経路、を理解する。 ・色の知覚、形の知覚、奥行き知覚、錯視、聴覚、および聴覚の情報処理経路、を理解する。 ・音の大きさ、音の高さ、音色、音源の定位、触覚、嗅覚、味覚、触覚2点閾、痛み、を理解する。	西塚拓海
5	学習	・生得的行動、初期経験、非連合学習、古典的（レスポナント）条件づけ、強化、消去、般化、分化、自発的回復、を理解する。	西塚拓海
6	学習	・道具的（オペラント）条件づけ、強化スケジュール、運動学習、社会的学習、行動理論、を理解する。	西塚拓海
7	記憶	・記憶の分類、作動記憶、長期記憶、宣言的記憶、手続き的記憶、意味記憶、エピソード記憶、を理解する。	西塚拓海
8	記憶	・記憶の忘却、干渉、変容、潜在記憶と健在記憶、を理解する。	西塚拓海
9	思考・言語	・言語について、人間の言語情報処理、普遍文法、言語の特性と障害、を理解する。	西塚拓海
10	思考・言語	・思考、問題解決、意思決定、ヒューリスティックス、バイアス、を理解する。	西塚拓海
11	情動・感情	・情動、感情、気分、表情と情動の種類、を理解する。 ・情動の機能、諸理論、発達、を理解する。	西塚拓海
12	動機づけ	・動因、誘因と行動、欠乏欲求、欲求不満、葛藤、を理解する。	西塚拓海
13	性格・知能	・性格の理論、類型論、特性論、ビッグファイブ、を	西塚拓海

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		理解する。	
14	性格・知能	・性格検査、質問紙法、投影法、知能とその検査法、を理解する。	西塚拓海
15	社会行動	・自己の認知、対人認知、対人魅力、態度と説得、同調、社会的影響、を理解する。	西塚拓海

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

授業ごとのコメントシート30%、期末試験70%とする。内容理解、批判的思考、論理的思考と表現、応用力、参加態度などの観点から最終的な評価を行う。オリエンテーションにて詳細を解説する。

【教科書】

心理学 第5版補訂版（東京大学出版会）

心理学検定 一問一答問題集 [A領域編]（実教教育出版）

心理学検定 公式問題集 2026年版（実教教育出版）

【参考書】

心理学への招待 [改訂版]（サイエンス社）

心理学概論 [第2版]（ナカニシヤ出版）

心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)（有斐閣）

心理学概論（ナカニシヤ出版）

誠信 心理学辞典 [新版]（誠信書房）

【備考】

全ての回に出席し、その内容を十分に理解していること。指示された講義前学習を行っていることを前提として講義を進める。講義内容に不明な点などあれば、質問などを行い、直ちに解決すること。

【本科目のICTの活用の状況】

1. 学習教材（授業資料）の配信，学習課題の提示
 - ・授業資料の配布は，google class roomを利用する．
 - ・学習課題の提示は，google class roomを利用する．
2. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
 - ・毎回，google formを利用して，コメントシートを実施し，質問などを次回授業時に反映、フィードバックする．
 - ・google formを利用して，適宜学生の理解度を把握する．
3. 資料はすべて電子化したものとし，紙資料の配布予定はない．

【学修の準備】

各回の「授業内容および学習課題」に挙げられているキーワードについて、教科書・参考書、インターネットなどを利用して事前に予習を行う。各回毎に指定される教科書・資料などの指定された部分を精読する。事前学習には60～90分かかるとを想定している。また心理学検定への挑戦も歓迎する。

【復習】

学習内容を自分の言葉でまとめる。教科書・参考書の当該部分を精読し、講義中に触れられなかった内容の補完や講義内容との統合を行うこと（60分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3：心理学の基礎やそれらを用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

DP1：心身の健康を保持し学修を継続できる基本的態度と知識・技能を身につけている。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

西塚拓海（臨床心理士・公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

精神科やスクールカウンセラー、企業への研修などにおける実務経験を活かし、可能な限り具体的に基礎から応用に及ぶ教育内

(2026年度・心理科学部)

容と臨床場面との関連について言及する .

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している